

2023年9月17日
礼 拜

聖書

創世記43章1～15節

43:1 さて、その地の飢饉は激しかった。

43:2 彼らがエジプトから持って来た穀物を食べ尽くしたとき、父は彼らに言った。「また行って、われわれのために食糧を少し買って来てくれ。」43:3 すると、ユダが父に言った。「あの方は私たちを厳しく戒めて、『おまえたちの弟と一緒になければ、私の顔を見てはならない』と言いました。

43:4 もし弟を私たちと一緒に行かせてくださるなら、私たちは下って行って、お父さんのために食糧を買って来ましょう。

43:5 しかし、もし彼を行かせてくださらぬなら、私たちは下って行きません。あの方は私たちに、『おまえたちの弟と一緒になければ、私の顔を見てはならない』と言ったのですから。」43:6 イスラエルは言った。「なぜ、おまえたちは、自分たちにもう一人の弟がいるとその方に言って、私を苦しめるようなことをしたのか。」43:7 彼らは言った。「あの方が私たちや家族のことについて、『おまえたちの父はまだ生きているのか。おまえたちには弟がいるのか』としきりに尋ねるので、問われるままに言ってしまったのです。

『おまえたちの弟を連れて来い』と言われるとは、どうして私たちに分かったのでしょうか。」43:8 ユダは父イスラエルに言った。「あの子を私と一緒に行かせてください。私たちは行きます。そうすれば私たちは、お父さんも私たちの子どもたちも、生き延びて、死なずにすむでしょう。

43:9 私自身があの子の保証人となります。私が責任を負います。もしも、お父さんのもとに連れ帰らず、あなたの前にあの子を立たせなかったら、私は一生あなたの前に罪ある者となります。

43:10 もし私たちがためらっていなかったなら、今までに二度は、行って帰れたはずです。」43:11 父イスラエルは彼らに言った。「それなら、こうしなさい。この地の名産を袋に入れ、それを贈り物として、その方のところへ下って行きなさい。

乳香と蜜を少々、樹膠と没薬、ピスタチオとアーモンド、43:12 また二倍の銀を持って行きなさい。おまえたちの袋の口に返されていた銀も、持って行って返しなさい。おそらく、
あれは間違いだったのだろう。

43:13 そして、弟を連れて、さあ、その方のところへ出かけて行きなさい。

43:14 全能の神が、その方の前でおまえたちをあわれんでくださるように。そして、もう一人の兄弟とベニヤミンをおまえたちに渡してくださるように。私も、息子を失うときには失うのだ。」

43:15 そこで、一行は贈り物を携え、二倍の銀を持ち、ベニヤミンを伴って出発した。そして、エジプトへ下り、ヨセフの前に立った。

説教

「主に委ねる信仰」

エジプトとその周辺地域を襲った飢饉は深刻な飢饉でした。ヤコブの督促でヨセフの兄たちは食料を求めてエジプトにやって来ました。エジプトの支配者の前で10人の兄たちは平身低頭、食料の配布を求めました。エジプトの支配者となっているヨセフにはこの人々が自分を売り飛ばした兄と直ぐわかりましたが、兄たちにはヨセフとわかりません。10人がひれ伏しているが一人足りません。ベニヤミンが来ていません。

エジプトに奴隷として売り飛ばされたのが17才、パロ王の夢解きをしてエジプトの支配者になったのが30才、それから7年に大豊作とその後の飢饉。ヨセフの年は38才か。カナンの地を去って20年余りが経過しています。ヨセフは20年ぶりで兄たちと出会っています。自分はヨセフと名乗れない。しかしこの20年の家族の様子は知りたい。父や弟のことは知りたい。それでおまえたちはスパイだ、斥候だ、間者だと疑い、その疑いを晴らすために正直に身分を明かせと要求しました。

次回食料を求めて来るときには家にいる末の弟を必ず連れて来なさい。そのためにシメオンを人質として牢に入れました。

9人の兄たちは食料を購入して父ヤコブの待つカナンの地に帰りました。

飢饉はひどく、買った食料も直ぐに底をつきます。ヤコブは「又エジプトに行って食料を買ってきておくれ」と息子たちに命じます。

末の息子と一緒になければ顔を見ることも出来ない。末の弟ベニヤミンと一緒に行かせてくださるなら食料を買いに行きます。

父ヤコブはそれはならぬ、ヤコブは許可をしません。食料はどんどん無くなってこのままでは全員が餓死になってしまいます。父を説得してベニヤミンを連れて食料を買いに行かなければならない日が刻々と迫っています。

ユダが父ヤコブに懇願します。

43:8 ユダは父イスラエルに言った。「あの子を私と一緒に
行かせてください。私たちは行きます。そうすれば私たちは、お
父さんも私たちの子どもたちも、生き延びて、死なずにすむ
でしょう。

43:9 私自身があの子の保証人となります。私が責任を負
います。もしも、お父さんのもとに連れ帰らず、あなたの前に
あの子を立たせなかったら、私は一生あなたの前に罪ある
者となります。

43:10 もし私たちがためらっていなかったなら、今までに二
度は、行って帰れたはずです。」

ユダは37章26節でヨセフをエジプトに売る提案者です。ヨセフに対して血も涙もない冷酷な兄。

ヨセフの上着に動物の血をつけて、これはあなたの息子の服か調べてくださいと父を欺いています。

以前のユダなら食料が必要な今、父ヤコブをだまして、ベニヤミンを誘拐する形でヨセフにしたと同じようにエジプトに連行してベニヤミンを利用して食料を得ることも出来たでしょう。

でもユダは変えられていました。

血のついた長服で父をだましたユダは変えられました。父の理解を得るために誠実で精一杯の努力をしています。ヨセフに対しては愛のひとかけらもありませんでした。しかし今は、ベニヤミンを食料を得る手段、道具と考えないで父の愛する息子、自分たちの大切な弟と認識が変えられています。父の理解を得るために、ベニヤミンの保証人になります、責任を持って連れて帰ります、ベニヤミンにもしものことがあれば、私は一生その責任を負って罪ある者となります。身代わりとなって罰を受けます。

ヨセフに対する取り扱いと180度変えられています。

父を愛し、弟を愛しています。

ヨセフを売った罪責感、動物の血をつけたヨセフの長

服を見せて父をだました罪責感、さらに

飢饉、試練の中でユダは神様の取り扱いを受けて変

えられています。

42:21 彼らは互いに言った。「まったく、われわれは弟のことで罰を受けているのだ。あれが、あわれみを求めたとき、その心の苦しみを見ながら、聞き入れなかった。それで、われわれはこんな苦しみにあっているのだ。」ユダを代表とする兄弟たちはヨセフに対する罪意識に目覚め、ベニヤミンを愛するように変えられています。

このユダの説得にヤコブも折れます。

「43:14 全能の神が、その方の前でおまえたちをあわれんでくださるよう。そして、もう一人の兄弟とベニヤミンをおまえたちに渡してくださるよう。私も、息子を失うときには失うのだ。」

絶対に手放さなかったベニヤミンを手放して、ベニヤミンを連れてエジプトのあの方のところに行きなさい。失う時には失うのだ。

神様に委ねる信仰に至っています。

ユダが変えられて説得したこと、飢饉の大きな圧力の中でヤコブの罪、偏愛の罪、それをやっと明け渡すことが出来ました。

この信仰の決断により結果的にヤコブも最愛の息子ヨセフを会う機会が与えられています。

創世記28章でヤコブは兄エサウをだまして父イサクの祝福の祈り、長子の権利を奪い取り、烈火のごとく怒り殺意に燃える兄から逃れるためにラバンの所を目指して一人逃避行をして疲れ果ててベテルの野で一
夜を明かしました。

その時夢の中で神様が現れ、天と地をつなぐはしごを天使たちが上り下りをして天から約束の声がありました。

「28:15 見よ。わたしはあなたとともにいて、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」

ヤコブは叔父ラバンの下で過ごし、二人の妻、二人の女奴隷、12人の子供に恵られました。

ラバンの下で仕えること、20年が過ぎて意を決してふるさとに帰ることにしました。この知らせを聞いてヤコブの兄エサウが400人の部下を引き連れてお迎えに来ました。

ヤコブは恐怖のどん底に突き落とされ、生き延びる作戦を考えました。宿営を二つに分ける、一つが打たれても一つを率いて逃げる事が出来る。

子供たち、妻たちをヤボクの渡しを渡らせ、ヤコブは一人川のこちら側に留まった。

自己保身で妻子に愛のかけらも無いヤコブ。あなたと共にいる、あなたを守るという約束をいただいても、自己中心のヤコブ。

その晩、ヤコブは神様と格闘しました。何故先頭に立ってエサウに謝らないのか、何故、妻子を犠牲にして自分を守る自己中心なのか、妻子のために盾となれないのか。まだ自我の塊なのか。

ヤコブの自我は、はい従いますといえず、粘ります。神様はヤコブの腰の関節をちょっと打たれると関節が外れて動けなくなり、祝福を下さい、祝福があればそれで生きて行きますと、握っていた自我を手放しました。

砕かれたヤコブは家族の先頭に立って
エサウに頭を下げて謝罪しました。
二人は抱擁して赦し合いました。
自己中心、自己保身のヤコブが砕かれました。

こんな素晴らしい霊的な体験をしたヤコブでしたが、まだ問題を持っていました。

最愛の妻、ラケルの子、ヨセフ、ベニヤミンを偏愛して手放せないでいました。

ヤコブの信仰が取り扱われる三度目の機会です。

息子たちの陰謀でヤコブはヨセフを失いました。
今また、ベニヤミンを主に委ねる、決意が迫られています。

ユダの信仰と愛に満ちたとりなし、
迫り来る一族餓死の飢饉の圧迫、これによって
ついにヤコブは最後まで握り締めていたベニヤミン、自
分の我欲を手放す、主に委ねる決意をすることが出来
ました。

ヤコブが握り締めていたベニヤミンを手放したことにより、
兄たちは食料を買いにエジプトへ行き、飢餓による餓
死から免れ、最終的にはヤコブはエジプトへ下ってヨセ
フと再会の恵みに与っています。

兄たちはベニヤミンを連れてエジプトへ行きます。
そこでエジプトの支配者ヨセフは弟ベニヤミンと再会しま
す。ヨセフはこらえきれなくなって、別室へ行って大泣き
します。顔を洗って一緒に食事をしますが、ここでもまだ
ヨセフは、ヨセフですと名乗っていません。

本当にここから兄たちは弟ベニヤミンを愛しているか、ヨセフはそれを確認するための工作をさらに44章でします。

兄弟たちがこころから父の偏愛の子ベニヤミンを愛している、守ろうとしている、自分を捨ててもベニヤミンを大切にしていることを確認して、ヨセフは私はあなた方が奴隷として売り飛ばしたヨセフと名乗っています。それは45章です。

神様は執着しているものからの解放、神様以外のもの、出来事、に縛られている私たち、人であったり、地位、学歴、所有物などのしがらみかを解放されて歩む事、自分を愛するように兄弟を愛する、自分を捨ててでも兄弟、友を愛する真の愛に生きることを願って
いられます。

このヨセフのドラマで創世記は終わり、出エジプト記につながります。エジプトを脱出した、ヤコブの子、12部

族が神の民を形成して生きます。

荒野の旅の道中で十戒が与えられました。

十戒の中心は2つです。

これは申命記などでも繰り返されています。

第一はこころから神様を愛すること、神様以外の物で
心が縛られないように。

第二は自分を愛するようになり人を愛すること、

神様はヤコブに何度も語られ迫られました。
自我に、欲望に縛られないで、神様に明け渡し、委
ねる様に。最愛の妻や子供も、主が与えてくださった
家族として、主に委ねて、主の恵みの中で交わってい
くように。

ヨセフを売り飛ばしたユダも変えられて行きました。
ベニヤミンの身代わりに自分が奴隷になります。ベニヤ
ミンを父の元に返してください、とところから兄弟を愛す
るユダに変えられています。

イエス様は最も大切な律法を教えてください。

マタイ22:36

「先生、律法の中でどの戒めが一番重要ですか。」

22:37 イエスは彼に言われた。「『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』22:38 これが、重要な第一の戒めです。

22:39 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。

22:40 この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」

ヨハネの手紙第一4:7

愛する者たち。私たちは互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。4:8 愛のない者は神を知りま

せん。神は愛だからです。

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

4:11 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。

4:12 いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。

主を信頼して、すべてを主に委ねる、明け渡す事。

兄弟をこころから愛していくこと、
この二点を心に留めて行きましょう。

祈り。